

DMA 設定ソフト

(for DMA-T 2.0)
操作説明書 (Rev1.00)

2009年7月29日

株式会社 **ハネロン**

目次

1	はじめに.....	1
2	動作環境.....	1
3	インストール手順.....	1
4	起動手順.....	1
5	DMA-Tの接続方法.....	2
6	パラメータの設定方法.....	3
6.1	使用する無線電話端末を選択する.....	3
6.2	使用する接続サーバーを選択する.....	4
6.3	サーバーの接続情報を入力する.....	5
6.3.1	mopera選択時の接続情報.....	5
6.3.2	moperaU選択時の接続情報.....	6
6.3.3	au.NET選択時の接続情報(1).....	7
6.3.4	au.NET選択時の接続情報(2).....	8
6.3.5	ラピキャス(Aプラン、Bプラン)選択時の接続情報(FOMA、DoPa).....	9
6.3.6	ラピキャス(Aプラン、Bプラン)選択時の接続情報(CDMA 1X).....	10
6.4	メール設定を入力する.....	11
6.5	設定を完了する.....	12
7	画面説明.....	13
7.1	メイン画面.....	13
7.1.1	メニューバー.....	14
7.1.2	ツールバー.....	15
7.1.3	設定メニュー.....	15
7.1.4	編集モード.....	16
7.1.5	作成メニュー.....	17
7.1.6	保存メニュー.....	17
7.2	設定画面.....	18
7.2.1	接続設定.....	18
7.2.2	プライマリ/セカンダリ/ターナリ設定.....	19
7.2.3	送信(SMTP)サーバー設定.....	21
7.2.4	受信(POP)サーバー設定.....	22
7.2.5	LAN接続設定.....	23

7.2.6	メール送信設定	25
7.2.7	メール受信設定	26
7.2.8	本体動作設定	27
7.2.9	時刻補正設定	28
7.2.10	停電／復電通報設定	29
7.2.11	停電通報送信設定	30
7.2.12	復電通報送信設定	31
7.2.13	定期通報設定	32
7.2.14	定期通報A送信設定	33
7.2.15	定期通報B送信設定	34
7.2.16	ヘルスチェック送信設定	35
7.2.17	テスト送信設定	36
7.2.18	接点入力設定	37
7.2.19	接点入力動作設定 (Ch1～16)	38
7.2.20	接点入力送信設定 (Ch1～16)	40
7.2.21	最優先入力送信設定	41
7.2.22	アナログ入力設定	42
7.2.23	アナログ入力動作設定 (Ch1～8)	43
7.2.24	アナログ入力送信設定 (Ch1～8)	45
7.2.25	外部機器設定	46
7.2.26	シリアルデータ送信設定	47
7.2.27	通信条件設定	48
7.3	その他の画面	49
7.3.1	動作履歴ログ表示	49
7.3.2	i-Web通信用パラメータ設定	50
7.3.3	パラメータエラーNo.検索	52
8	接続サーバーごとの設定項目対応表	53
8.1	mopera使用時	53
8.2	moperaU使用時	54
8.3	au.NET使用時	55
8.4	ラピキヤス使用時 (FOMA、DoPa)	56
8.5	ラピキヤス使用時 (CDMA 1X)	57
9	改訂履歴	58

1 はじめに

「DMA 設定ソフト(for DMA-T 2.0)」(以下、本ソフトと記載)は、DMA-Tの動作に必要な設定値(以下、パラメータと記載)を設定するためのアプリケーションソフトウェアです。

本ソフトを利用することで、DMA-Tのパラメータを容易に変更したり、パラメータのコピーをファイルに保存したりすることができます。

なお、本ソフトではファームウェアバージョン「2.00」以降のDMA-Tが設定可能です。それ以前のバージョンにつきましては正常に設定できませんので、ご注意ください。

2 動作環境

本ソフトは下記の OS が動作するパソコンにおいて、動作を保証致します。

Windows 2000、Windows XP (Home、Professional)

※ご使用の環境によってはインストールや動作が正しく実施されない場合があります。

また、DMA-Tと通信するためのシリアルポートが1ポート必要です。パソコンにシリアルポートが搭載されていない場合は、市販の USB⇄シリアル変換器をご用意ください。

3 インストール手順

下記の手順でインストールを進めてください。

- (1) 弊社のホームページに掲載されているダウンロードサイト(<http://www.haneron.com/down.php>)から、本ソフトをダウンロードします。
- (2) ダウンロードしたファイルは LHA で圧縮されていますので、これを解凍しますと「Setup」というフォルダが作成されます。(ファイルの解凍には、別途、LHA 形式に対応した解凍ソフトをご用意ください。)
- (3) 解凍した「Setup」フォルダ内にある「setup.exe」というファイルを実行します。
- (4) 「setup.exe」実行後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

※古いバージョンの本ソフトがインストールされている場合、「setup.exe」実行時に表示される画面で「DMA設定ソフト(for DMA-T 2.0)の削除(M)」を選択した後、[完了]ボタンをクリックするとアンインストールすることが出来ます。

※古いバージョンをアンインストール後、再度、最新バージョンをインストールすることを推奨します。

4 起動手順

インストール後、下記の手順で本ソフトを起動してください。

- (1) タスクバーのスタートボタン(デスクトップ画面左下)をクリックします。
- (2) スタートメニュー内の「プログラム(P)」、もしくは「すべてのプログラム(P)」をクリックします。
- (3) プログラムメニュー内の「DMA World」をクリックします。
- (4) メニュー内の「DMA 設定ソフト(for DMA-T 2.0)」をクリックします。

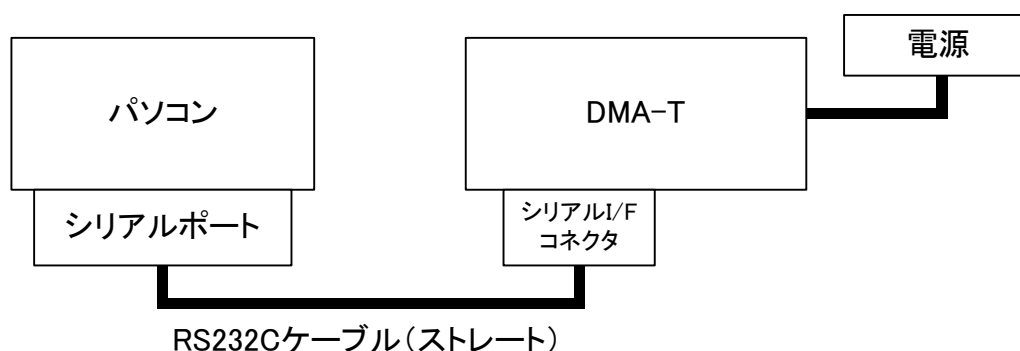
5 DMA-Tの接続方法

本ソフトを使用してDMA-Tと通信操作(パラメータの読み込み/書き込み/初期化、動作履歴の読み出し、バックアップ RAM 初期化)を行なう場合、パソコンとDMA-Tを下図のように接続してください。

接続が終わったらDMA-Tの「監視/編集」キーと「送信/決定」キーを同時に押したまま、DMA-Tに電源を供給してください。

DMA-Tの「動作」LEDと「エラー/停止」LEDが点滅している事を確認したら、押していたキーを離します。この状態で、本ソフトを使用して通信操作を行なってください。

なお、パソコンのシリアルポートの通信速度は本ソフトによって自動的に設定されますので、特に設定する必要はありません。



DMA-Tとの通信操作中にパソコン上でシリアルポートを使用するソフトウェア(ハイパーターミナル等)が起動していると、シリアルポートが競合して通信エラーが発生する恐れがあります。

本ソフトの使用中はシリアルポートを使用するソフトウェアを起動しないようにしてください。

6 パラメータの設定方法

6.1 使用する無線電話端末を選択する

本ソフトをインストール後、初めて起動した際、および後述するメイン画面で「新規にパラメータを作成する」を選択した際、下図の「新規作成画面」が表示されます。

最初に「1.無線電話端末」の選択画面が表示されますので、DMA-Tに接続して使用する無線電話端末を選択して「次へ>」ボタンをクリックしてください。

画面左下の「起動時にこの画面を表示する」にチェックを付けておくと、次回の本ソフト起動時にもこの画面が表示されます。起動時に表示する必要が無い場合、チェックを外しておいて下さい。



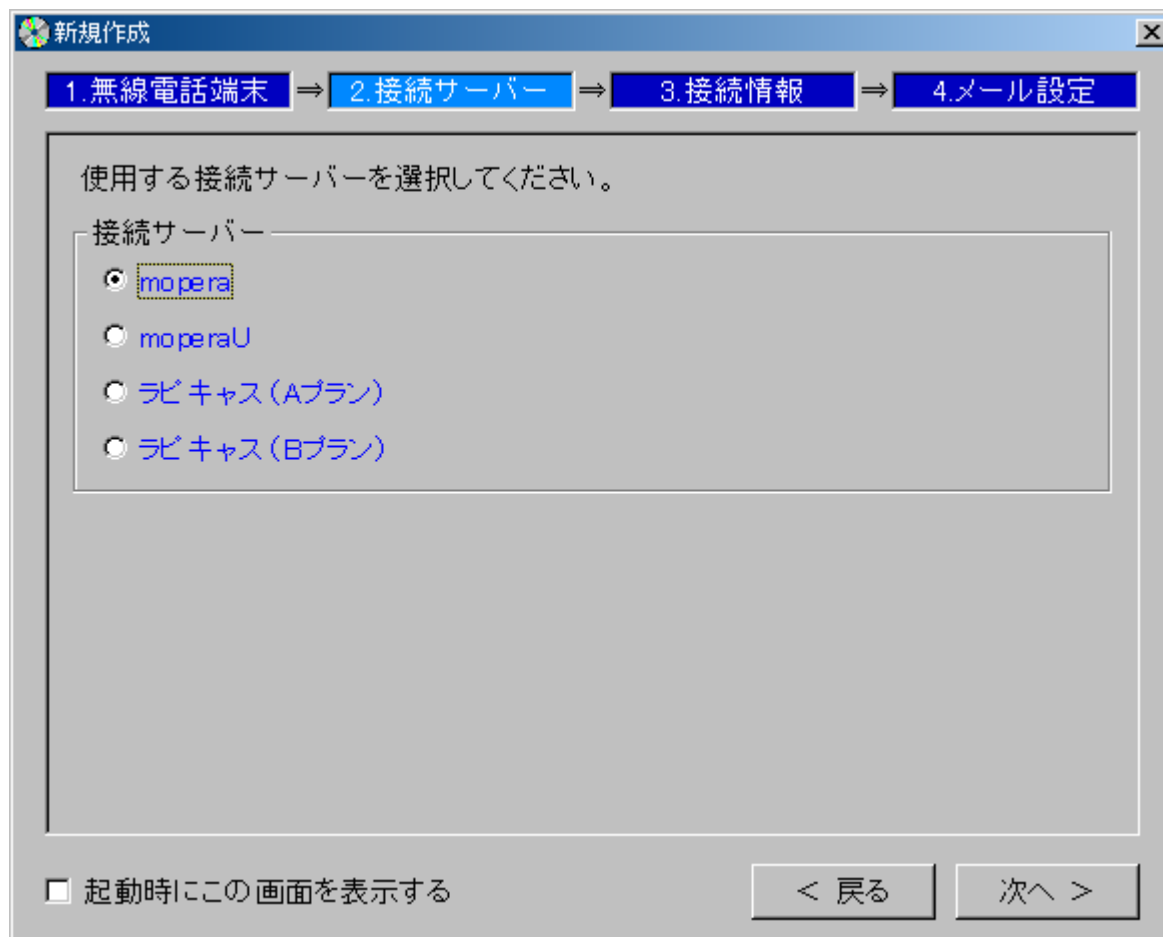
途中で設定をやめる場合、上記の画面の「キャンセル」ボタン、または画面右上の「X」ボタンをクリックする事で、設定を中止してメイン画面に移動します。(この場合、パラメータの初期設定は「FOMA アダプタ」で「mopera」を使用する設定になります。)

新規作成画面を使用して作成したパラメータは後ほど設定画面で変更する事が出来ますので、まだ決まっていない項目や、よく分からない項目がありましたら、未入力のまま「次へ>」ボタンをクリックして先に進んでも構いません。

なお、通信機器としてアナログモデム、および XPort を使用する場合には、新規作成画面から設定する事が出来ません。通常の設定画面から接続に必要な設定を行なってください。

6.2 使用する接続サーバーを選択する

使用する無線電話端末を選択すると、「2.接続サーバー」の選択画面が表示されますので、DMA-Tがメールの送受信を行なう際に接続するサーバーを選択して「次へ>」ボタンをクリックしてください。



なお、使用する無線電話端末によって選択できるサーバーが異なります。

無線電話端末ごとに選択可能なサーバーは以下の通りです。

無線電話端末	選択可能な接続サーバー
FOMA アダプタ (UM01-KO / UM01-F / UM02-F)	mopera、moperaU、ラピキャス(Aプラン、Bプラン)
MobileArk(9601D / 9601KO / 9601F) UM-ADP	mopera、ラピキャス(Aプラン、Bプラン)
P's Boat / D2-K's1 D2-K's2(P'sモード)	au.NET
D2-K's2(M'sモード)	au.NET、ラピキャス(Aプラン、Bプラン)

上記の中にお客様の環境で使用できる接続サーバーが無い場合、新規作成画面ではパラメータを設定する事が出来ません。お手数ですが、新規作成画面を終了させた後、各々の設定画面からパラメータを設定してください。

6.3 サーバーの接続情報を入力する

使用する接続サーバーを選択すると、「3.接続情報」の入力画面が表示されますので、接続に必要な情報を入力して「次へ>」ボタンをクリックしてください。

6.3.1 mopera 選択時の接続情報

接続サーバーに「mopera」を選択した場合、以下の画面が表示されます。

DMA のメールアドレスを入力してください。(メールを受信しない場合は、架空のメールアドレスを入力していただいても構いません。)

mopera メールサービスを使用してメールを受信する場合、mopera 登録時に取得したユーザー名とパスワードを入力してください。(mopera メールサービスを使用する場合、事前の登録が必要です。)

新規作成

1. 無線電話端末 ⇒ 2. 接続サーバー ⇒ 3. 接続情報 ⇒ 4. メール設定

以下の接続情報を入力してください。

DMAのメールアドレス(半角54文字以内のメールアドレス)

moperaメールサービスを使用してメールを受信する場合、以下の情報を入力してください。(moperaメールサービスを使用する場合、事前の登録が必要です。)

mopera登録時のユーザー名(半角32文字以内)

mopera登録時のパスワード(半角16文字以内)

起動時にこの画面を表示する

< 戻る

次へ >

6.3.2 moperaU 選択時の接続情報

接続サーバーに「moperaU」を選択した場合、以下の画面が表示されます。

moperaU 登録時に取得したメールアドレス、ユーザー名(基本ID)、パスワードを入力してください。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "新規作成" (New Creation). At the top, there is a progress bar with four steps: "1. 無線電話端末" (Wireless Phone Terminal), "2. 接続サーバー" (Connection Server), "3. 接続情報" (Connection Information), and "4. メール設定" (Email Settings). Step 3 is currently selected and highlighted in blue. Below the progress bar, the text reads "以下の接続情報を入力してください。" (Please enter the following connection information.). There are three input fields: "moperaU登録時のメールアドレス(半角54文字以内のメールアドレス)" (moperaU registration email address, max 54 half-width characters), "moperaU登録時のユーザー名(基本ID)(半角32文字以内)" (moperaU registration user name/basic ID, max 32 half-width characters), and "moperaU登録時のパスワード(半角16文字以内)" (moperaU registration password, max 16 half-width characters). At the bottom left, there is a checked checkbox labeled "起動時にこの画面を表示する" (Show this screen at startup). At the bottom right, there are two buttons: "< 戻る" (Back) and "次へ >" (Next).

6.3.3 au.NET 選択時の接続情報(1)

接続サーバーに「au.NET」を選択した場合、以下の画面が表示されます。

au.NETを使用する場合、別途、メールサーバーが必要となりますので、お客様の環境でご利用可能なメールサーバーの情報を入力してください。

ここでは、DMA のメールアドレスとメール受信時に使用する POP(受信)サーバーのドメイン名、POP 認証用のユーザー名とパスワードを入力します。

6.3.4 au.NET 選択時の接続情報(2)

引き続き、メール送信時に使用する SMTP(送信)サーバーのドメイン名、SMTP 認証の実施有無と認証を行なう場合のユーザー名、およびパスワード、POP before SMTP(メール送信時の POP 認証)の実施有無を入力します。

新規作成

1. 無線電話端末 ⇒ 2. 接続サーバー ⇒ 3. 接続情報(2/2) ⇒ 4. メール設定

以下の接続情報を入力してください。

SMTP(送信) 接続サーバーのドメイン名(半角32文字以内)

SMTP認証の実施有無

実施する 実施しない

SMTP認証時のユーザー名(半角32文字以内)

SMTP認証時のパスワード(半角16文字以内)

POP before SMTP (メール送信時のPOP認証)の実施有無

実施する 実施しない

起動時にこの画面を表示する

< 戻る

次へ >

6.3.5 ラピキャス(Aプラン、Bプラン)選択時の接続情報(FOMA、DoPa)

無線電話端末に「FOMA アダプタ」、「MobileArk」、「UM-ADP」を選択して、接続サーバーに「ラピキャス(Aプラン)」、「ラピキャス(Bプラン)」を選択した場合、以下の画面が表示されます。

ラピキャス登録時の登録完了通知書に記載されているIPアドレス、通信機用ラピキャスID、POPパスワード(暗証番号)を入力してください。

6.3.6 ラピキャス(A プラン、B プラン)選択時の接続情報(CDMA 1X)

無線電話端末に「D2-K's2(M's モード)」を選択して、接続サーバーに「ラピキャス(A プラン)」、「ラピキャス(B プラン)」を選択した場合、以下の画面が表示されます。

ラピキャス登録時の登録完了通知書に記載されている IP アドレス、接続ユーザ ID、接続パスワード、通信機用ラピキャス ID、POP パスワード(暗証番号)を入力してください。

6.4 メール設定を入力する

接続情報を入力すると、「4.メール設定」の入力画面が表示されますので、DMA-Tからメールを送信する相手の宛先メールアドレスと、DMA-Tがメール受信を実施する条件を入力して「次へ>」ボタンをクリックしてください。

なお、接続サーバーに「ラピキャス(B プラン)」を選択した場合、ラピキャスサーバーからの通知を受けてDMA-Tが自動的にメール受信を行なうため、受信条件を設定する必要がありません。したがって、「ラピキャス(B プラン)」選択時は、メール受信の項目は表示されません。

新規作成

1. 無線電話端末 ⇒ 2. 接続サーバー ⇒ 3. 接続情報 ⇒ 4. メール設定

以下のメール設定を入力してください。

DMAからメールを送信する宛先アドレス(半角54文字以内のメールアドレス)

メール受信

メール受信を行わない

メール送信後に受信する

1 時間 0 分ごとにメール受信を実施する(0時間1分~99時間59分)

起動時にこの画面を表示する

< 戻る

次へ >

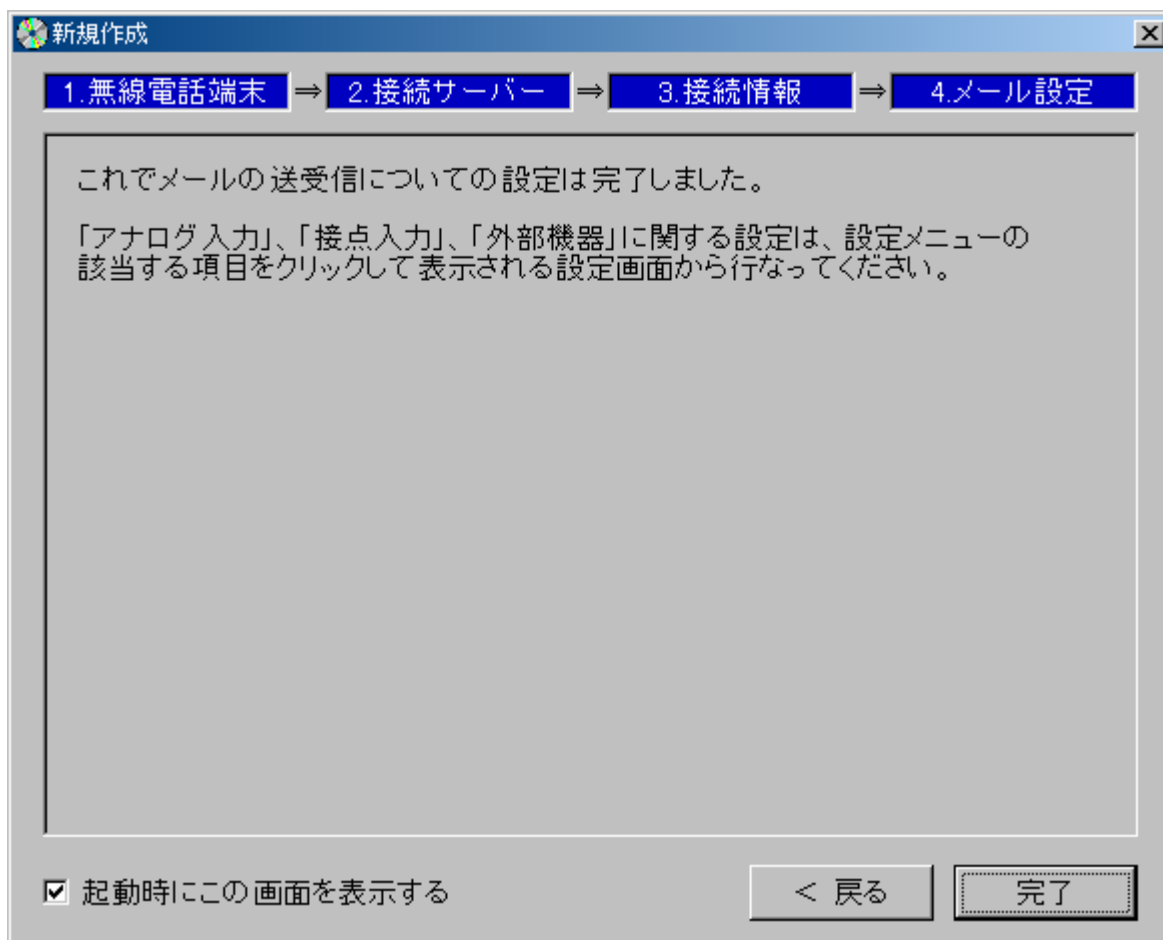
6.5 設定を完了する

メール設定を入力すると、設定完了画面が表示されます。

ここで「完了」ボタンをクリックすると、設定を完了してメイン画面に移動します。

この時点で、後述する設定画面のうち、「接続設定」、「プライマリ設定／セカンダリ設定／ターナリ設定」「POP サーバー設定」、「SMTP サーバー設定」について、接続に必要なパラメータが入力された状態になっています。

引き続き、設定画面からDMA-Tのアナログ入力、接点入力、外部機器の設定を行なってください。

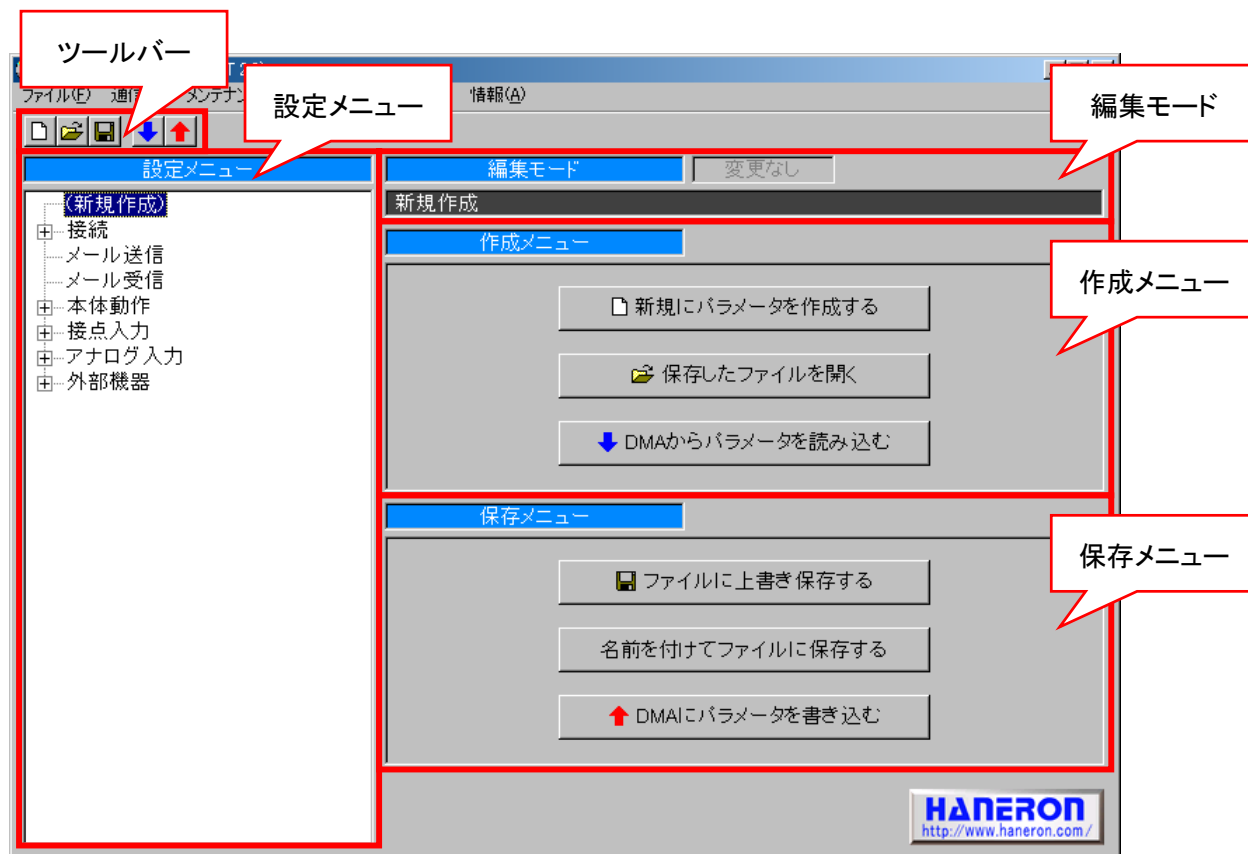


7 画面説明

7.1 メイン画面

新規作成画面終了後、もしくは新規作成画面の「起動時にこの画面を表示する」にチェックを付けずに本ソフトを起動した場合、最初に表示される画面です。

この画面で、詳細なパラメータの設定、パラメータ作成方法の選択、DMA-Tに保存されたパラメータの読み込み／書き込み、パラメータ保存方法の選択などの操作を行ないます。



7.1.1 メニューバー








メニューバー内の項目をクリックすると、以下の操作を行います。

項目		内容
ファイル	新規作成	新規作成画面を使って基本的なパラメータを設定します。
	開く	パラメータを保存したファイルを開いて内容を読み込みます。
	上書き保存	設定したパラメータを読み込んだファイルに上書き保存します。 編集モードが「新規作成」、「DMA-Tパラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
	名前を付けて保存	新しいファイルを作成して、設定したパラメータを保存します。
	終了	本ソフトを終了します。 ※パラメータが変更されている場合、ソフトを終了する前に終了確認ダイアログを表示します。
通信	パラメータ読み込み	パソコンに接続されたDMA-Tからパラメータを読み込みます。
	パラメータ書き込み	パソコンに接続されたDMA-Tに設定したパラメータを書き込みます。
メンテナンス	動作履歴読み出し	パソコンに接続されたDMA-Tの動作履歴ログを読み出して表示します。
	パラメータ初期化	パソコンに接続されたDMA-Tのパラメータを工場出荷時の状態に戻します。
	バックアップ RAM 初期化	パソコンに接続されたDMA-Tのバックアップ RAM を初期化してバックアップ RAM エラーを解消します。
	i-Web 通信用パラメータ設定	i-Web 通信用パラメータの設定画面を表示します。
シリアルポート選択		DMA-Tを接続したパソコンのシリアルポート番号を選択します。
情報	パラメータエラーNo. 検索	DMA-TのパラメータエラーNo.の検索画面を表示します。
	バージョン情報	本ソフトのバージョン情報ダイアログを表示します。

7.1.2 ツールバー

ツールバー内のアイコンをクリックすると、以下の操作を行います。

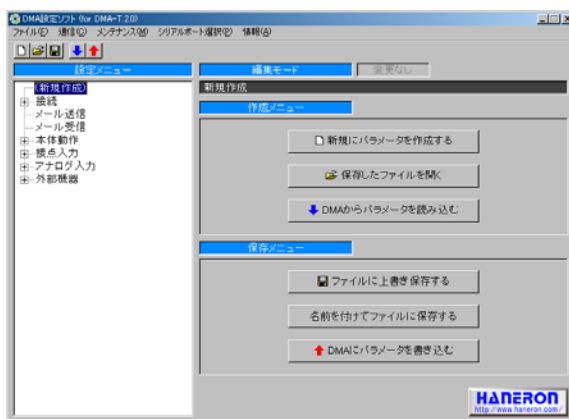
アイコン	名称	内容
	新規にパラメータを作成する	新規作成画面を使ってパラメータを設定します。
	保存したファイルを開く	パラメータを保存したファイルを開いて内容を読み込みます。
	ファイルに上書き保存する	読み込んだファイルに設定したパラメータを上書き保存します。 編集モードが「新規作成」、「DMA-Tパラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
	DMA からパラメータを読み込む	パソコンに接続されたDMA-Tからパラメータを読み込みます。
	DMA にパラメータを書き込む	パソコンに接続されたDMA-Tに設定したパラメータを書き込みます。

7.1.3 設定メニュー

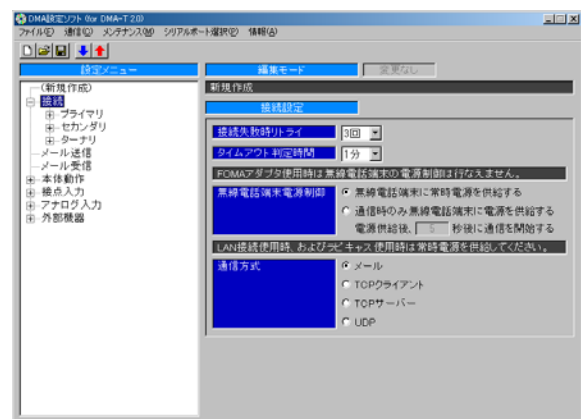
詳細なパラメータ設定を行なう項目を選択します。

メニュー内の項目をクリックすると画面右側の表示が切り替わり、選択した項目の設定画面が表示されます。設定画面上の入力項目については、7.2 項からの説明を参照してください。

メニューの先頭行(上記の画面例では「(新規作成)」の行)をクリックすると、作成メニューと保存メニューが表示されます。



(作成メニュー／保存メニュー表示時)



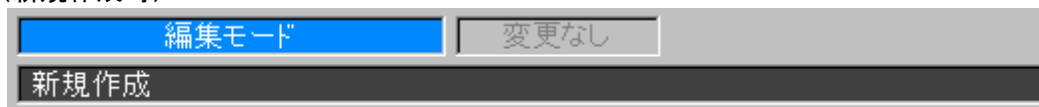
(設定画面表示時)

7.1.4 編集モード

現在の編集モードを表示します。

作成メニューから選択した編集方法によって、以下のように表示が切り替わります。

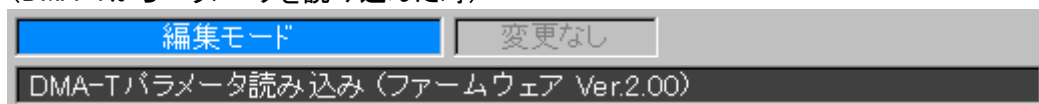
(新規作成時)



(保存したファイルを読み込んだ時)



(DMA-Tからパラメータを読み込んだ時)



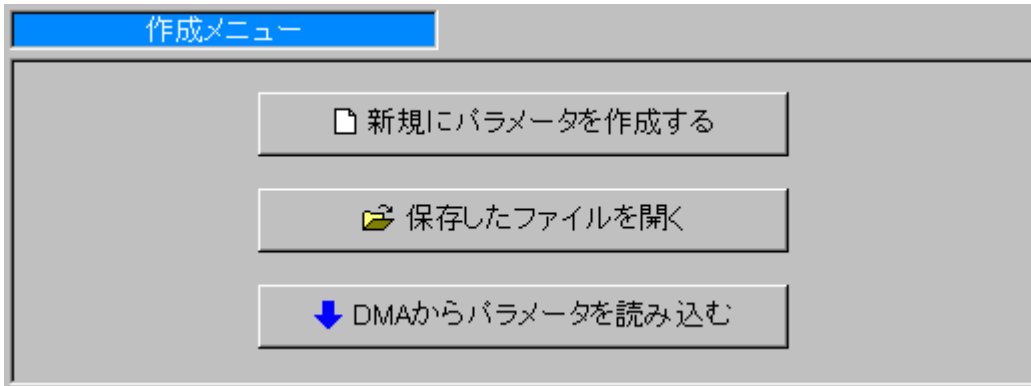
また、設定画面でパラメータの設定値を変更した場合、編集モード右側の「変更なし」の表示が「変更あり」に切り替わります。

(パラメータ設定値が変更された時)



7.1.5 作成メニュー

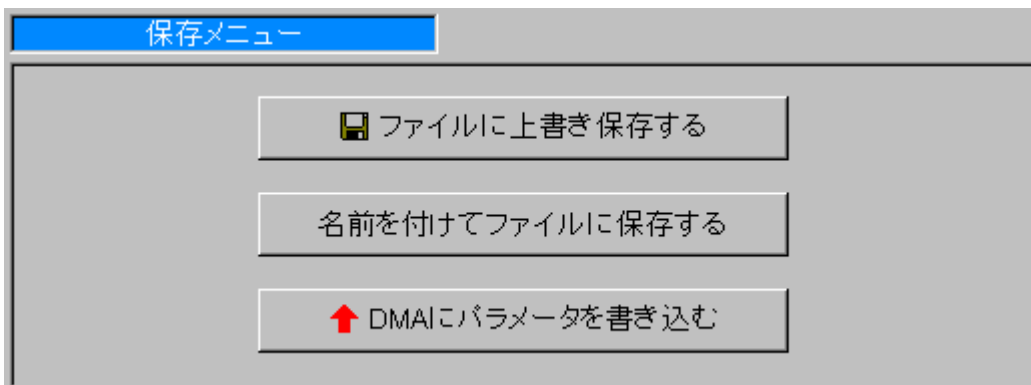
パラメータ設定を行なう際、元になる設定値の作成方法を選択します。



名称	内容
新規にパラメータを作成する	新規作成画面を使って基本的なパラメータを設定します。
保存したファイルを開く	パラメータを保存したファイルを開いて内容を読み込みます。
DMA からパラメータを読み込む	パソコンに接続されたDMA-Tからパラメータを読み込みます。

7.1.6 保存メニュー

設定したパラメータをファイル、またはDMA-Tに保存する方法を選択します。



名称	内容
ファイルに上書き保存する	読み込んだファイルに対して、設定したパラメータを上書き保存します。編集モードが「新規作成」、「DMA-Tパラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
名前を付けてファイルに保存する	新しいファイルを作成して、設定したパラメータを保存します。
DMA にパラメータを書き込む	パソコンに接続されたDMA-Tに、設定したパラメータを書き込みます。

7.2 設定画面

7.2.1 接続設定

設定メニューの「接続」をクリックすると表示される画面です。

使用する無線電話端末、通信方式の選択など、接続動作全般に関するパラメータを設定します。

The screenshot shows the '接続設定' (Connection Settings) window. It contains the following elements:

- 接続失敗時リトライ**: A dropdown menu set to '3回' (3 times).
- タイムアウト判定時間**: A dropdown menu set to '1分' (1 minute).
- FOMAアダプタ使用時は無線電話端末の電源制御は行なえません。**: A warning message.
- 無線電話端末電源制御**: Radio buttons for:
 - 無線電話端末に常時電源を供給する
 - 通信時のみ無線電話端末に電源を供給する
 Below the second option is a text field '電源供給後、' followed by a dropdown set to '5' and the text '秒後に通信を開始する'.
- LAN接続使用時、およびラピキャス使用時は常時電源を供給してください。**: A warning message.
- 通信方式**: Radio buttons for:
 - メール
 - TOPクライアント
 - TOPサーバー
 - UDP

名称(入力範囲)	内容
接続失敗時リトライ (無し、1～10回)	回線接続失敗時のリトライ回数を設定します。
タイムアウト判定時間 (1～5分)	サーバー接続時、および通信時にサーバーからの応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。
無線電話端末電源制御	無線電話端末の電源を制御するかどうか選択します。 ※通信時のみ電源を供給する場合、通信終了後に無線電話端末の電源を切断するため、LAN 接続使用時のサーバー側からの接続要求、およびラピキャス使用時の着信通知が受け付けられなくなります。このため、LAN 接続使用時、およびラピキャス使用時は常時電源を供給してください。 ※FOMA アダプタを使用する場合、DMA-Tの電源容量の関係上、電源制御が行えない仕様になっています。
通信方式	DMA-Tが通信を行なう方式を選択します。 選択した通信方式によって設定メニューが切り替わり、設定の必要な項目だけが表示されます。

7.2.2 プライマリ/セカンダリ/ターナリ設定

設定メニューの「プライマリ」、「セカンダリ」、「ターナリ」をクリックすると表示される画面です。

(接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合、時刻補正サーバーへの接続設定に使用されます。)

接続先 APN 情報(または接続先電話番号)や接続認証時のユーザー名など、回線接続時に必要なパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
送信元メールアドレス (54 文字以内。半角英数小文字のみ使用可能)	DMA-Tのメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメールアドレス形式で入力してください。 ※このアドレスはメールヘッダの FROM 情報に記載されます。
自己 IP アドレス (0.0.0.0~255.255.255.255)	DMA-Tの IP アドレスを設定します。 ※ラピカス使用時以外は、「0.0.0.0」としてください。
接続先 APN 情報 (32 文字以内。半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能)	FOMA 網への接続に使用する APN 情報を設定します。 無線電話端末に FOMA アダプタを使用する場合に入力してください。
接続先電話番号 (16 文字以内。半角数値、「#」、「*」、「-」のみ使用可能)	DoPa 網、CDMA 1X 網への接続に使用する電話番号を設定します。 無線電話端末に FOMA アダプタを使用する場合、入力した内容は無効になります。
接続認証方式	回線接続時の認証方式を選択します。
ユーザー名 (54 文字(半角時)以内)	回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。
パスワード (16 文字(半角時)以内)	回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。

名称(入力範囲)	内容
DNS サーバー(優先) (0.0.0.0~255.255.255.255)	優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
DNS サーバー(代替) (0.0.0.0~255.255.255.255)	代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

7.2.3 送信(SMTP)サーバー設定

設定メニューの「送信(SMTP)サーバー」をクリックすると表示される画面です。

(接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は設定メニューに表示されません。)

メール送信に使用する送信(SMTP)サーバーのパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
IP アドレス (0.0.0.0～255.255.255.255)	送信(SMTP)サーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名 (48文字(半角時)以内)	送信(SMTP)サーバーのドメイン名を設定します。 ※IPアドレスかドメイン名のどちらかを選択して入力してください。
接続先ポート番号 (0～65535)	送信(SMTP)サーバーのポート番号を設定します。
SMTP 認証	SMTP 認証を実施するかどうか選択します。 ※SMTP 認証は送信(SMTP)サーバーが対応していなければ実施できません。また、SMTP 認証を使用する場合、接続先ポート番号の変更が必要になる場合があります。
SMTP 認証アカウント名 (32文字(半角時)以内)	SMTP 認証を実施する際のアカウント名を設定します。
SMTP 認証パスワード (16文字(半角時)以内)	SMTP 認証を実施する際のパスワードを設定します。
POP before SMTP	メールを送信する際、事前にPOP認証(POP before SMTP)を実施するかどうか選択します。

7.2.4 受信(POP)サーバー設定

設定メニューの「受信(POP)サーバー」をクリックすると表示される画面です。

(接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は設定メニューに表示されません。)

メール受信に使用する受信(POP)サーバーのパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
IP アドレス (0.0.0.0~255.255.255.255)	受信(POP)サーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名 (48文字(半角時)以内)	受信(POP)サーバーのドメイン名を設定します。 ※IPアドレスかドメイン名のどちらかを選択して入力してください。
接続先ポート番号 (0~65535)	受信(POP)サーバーのポート番号を設定します。
POP 認証アカウント名 (32文字(半角時)以内)	受信(POP)サーバーに接続するためのアカウント名を設定します。
POP 認証パスワード (16文字(半角時)以内)	受信(POP)サーバーに接続するためのパスワードを設定します。

7.2.5 LAN 接続設定

設定メニューの「LAN 接続」をクリックすると表示される画面です。

(接続設定画面で「通信方式=メール」を選択した場合は設定メニューに表示されません。)

接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合に使用されるパラメータを設定します。

名称(入力範囲)	内容
自己 IP アドレス (0.0.0.0~255.255.255.255)	DMA-Tの IP アドレスを設定します。
自己ポート番号 (0~65535)	DMA-Tのポート番号を設定します。 ※TCP クライアント時は設定不要です。
相手先 IP アドレス (0.0.0.0~255.255.255.255)	通信相手先の IP アドレスを設定します。 ※TCP サーバー時は設定不要です。
相手先ポート番号 (0~65535)	通信相手先のポート番号を設定します。 ※TCP サーバー時は設定不要です。
接続先 APN 情報 (32 文字以内。半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能)	FOMA 網への接続に使用する APN 情報を設定します。 無線電話端末に FOMA アダプタを使用する場合に入力してください。

名称(入力範囲)	内容
接続先電話番号 (16 文字以内。半角数値、「#」、 「*」、「-」のみ使用可能)	DoPa 網、CDMA 1X 網への接続に使用する電話番号を設定します。 無線電話端末に FOMA アダプタを使用する場合、入力した内容は 無効になります。
接続認証方式	回線接続時の認証方式を選択します。
ユーザー名 (54 文字(半角時)以内)	回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。
パスワード (16 文字(半角時)以内)	回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。
ダミーデータ定期送信 (無し、1~10 分)	定期的にダミーデータを送信する間隔を設定します。
回線自動接続 (無し、1~10 分)	定期的に回線を接続する間隔を設定します。
回線自動切断 (無し、1~660 秒)	回線接続後、データの送受信が行なわれない状態が続いた際、自 動的に回線を切断するまでの時間を設定します。

7.2.6 メール送信設定

設定メニューの「メール送信」をクリックすると表示される画面です。

(接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は設定メニューに表示されません。)

メール送信時に使用する接続設定の選択と、メールの送信先アドレスの設定を行ないます。

名称(入力範囲)	内容
送信サーバー選択	<p>メールの送信に使用する送信(SMTP)サーバーを選択します。</p> <p>※通常はプライマリのみ選択します。</p> <p>※プライマリ以外にもメール送信可能なサーバーが設定されている場合、それらのサーバーを選択する事で、メール送信失敗時に別のサーバーを使って再送信を行ないます。</p>
送信先アドレス (54文字以内。半角英数小文字のみ使用可能)	<p>メールを送信する相手先のアドレスを最大10箇所まで設定します。</p> <p>※メール受信を行なう場合、ここに登録されたアドレスから受信したメールだけを有効なメールとして受け付けます。</p>

7.2.7 メール受信設定

設定メニューの「メール受信」をクリックすると表示される画面です。

(接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は設定メニューに表示されません。)

メール受信時に使用する接続設定の選択と、受信方法の選択を行ないます。

名称(入力範囲)	内容
受信サーバー選択	メールの受信に使用する受信(POP)サーバーを選択します。
送信後の受信処理	メール送信後に引き続きメール受信を実施するかどうかを選択します。
定期的な受信処理 (実施しない、0 時間 1 分～ 99 時間 59 分)	定期的にメール受信を行なうかどうかを選択します。 また、定期的に受信する場合の実施間隔を設定します。

7.2.8 本体動作設定

設定メニューの「本体動作」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの動作全般に関わる設定を行いません。

名称(入力範囲)	内容
装置情報 (6文字(半角時)以内)	DMA-Tから送信される各イベントの本文に付加される内容を設定します。
省電力動作選択	省電力動作を行なうかどうか選択します。
RAM自動クリア	バックアップRAMエラー発生時の対応方法を選択します。
監視開始設定	イベント監視動作を開始する曜日、および時刻を設定します。
監視終了設定	イベント監視動作を終了する曜日、および時刻を設定します。

7.2.9 時刻補正設定

設定メニューの「時刻補正」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの時刻補正の実施有無、および実施する際の接続設定を行ないます。

名称(入力範囲)	内容
時刻補正実施 (実施しない、1～30日)	時刻補正の実施有無、および実施する場合の実施間隔を設定します。
接続設定選択	時刻補正サーバーへの接続に使用する接続設定を選択します。 ※ラピキャスサーバー用の接続設定では時刻補正サーバーに接続できないため、ラピキャス使用時は別の接続設定を選択してください。 ※LAN接続時も、時刻補正にはプライマリ/セカンダリ/ターナリの接続設定を使用するため、mopera や au.NET 等の接続可能な設定を選択してください。
時刻補正サーバー(優先)	時刻補正に使用するサーバーを設定します。
時刻補正サーバー(代替)	優先に設定したサーバーに対して接続できなかった際に使用するサーバーを設定します。

7.2.10 停電／復電通報設定

設定メニューの「停電／復電通報」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの停電時、および復電(電源復旧)時の動作を設定します。

名称(入力範囲)	内容
停電検出タイマー (0.1～100.0 秒。0.1 秒単位で設定)	DMA-Tへの電源供給が切断した際、停電と判断するまでの時間を設定します。
停電通報実施選択	停電と判断した際に停電イベントを通報するかどうか選択します。
復電検出タイマー (0.1～100.0 秒。0.1 秒単位で設定)	停電と判断した後、DMA-Tへの電源供給が再開した際、復電(電源復旧)と判断するまでの時間を設定します。
復電通報実施選択	復電と判断した際に復電イベントを通報するかどうか選択します。 ※停電イベントが通報されなかった場合、復電イベントも通報されませんので、ご注意ください。

7.2.11 停電通報送信設定

設定メニューの「停電通報送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの停電イベント通報時に送信される件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20文字(半角時)以内)	停電イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (64文字(半角時)以内)	停電イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	停電イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式＝TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.12 復電通報送信設定

設定メニューの「復電通報送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの復電(電源復旧)イベント通報時に送信される件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20文字(半角時)以内)	復電イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (64文字(半角時)以内)	復電イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	復電イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.13 定期通報設定

設定メニューの「定期通報」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tから一定周期ごとに送信される定期通報イベントの設定を行ないます。

名称(入力範囲)	内容
定期通報 A 送信間隔	定期通報 A(現在入力値情報)の送信間隔を設定します。
定期通報 B 送信間隔	定期通報 B(アナログ入力値ログデータ)の送信間隔を設定します。

7.2.14 定期通報A送信設定

設定メニューの「定期通報 A 送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの定期通報 A イベント通報時に送信される件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20文字(半角時)以内)	定期通報 A イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (64文字(半角時)以内)	定期通報 A イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	定期通報 A イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.15 定期通報B送信設定

設定メニューの「定期通報 B 送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの定期通報 B イベント通報時に送信される件名、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20文字(半角時)以内)	定期通報 B イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
送信先アドレス	定期通報 B イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.16 ヘルスチェック送信設定

設定メニューの「ヘルスチェック送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tから定期的に送信されるヘルスチェック(件名のみを送信してDMA-Tが動作中である事を確認する)イベント通報時に送信される件名、送信間隔、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20文字(半角時)以内)	ヘルスチェックイベント通報の件名に記載される内容を設定します。
送信間隔 (送信しない、10分～48時間)	ヘルスチェックイベント通報を送信するかどうかを選択します。 また、送信する場合の送信間隔を設定します。 ※DMA-T通電後、設定した送信間隔が経過する毎にヘルスチェック通報を送信します。
送信先アドレス	ヘルスチェックイベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式＝TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.17 テスト送信設定

設定メニューの「テスト送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの「送信／決定」キーを押した際に送信されるテスト送信イベント通報時の件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20文字(半角時)以内)	テスト送信イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (64文字(半角時)以内)	テスト送信イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	テスト送信イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式＝TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.18 接点入力設定

設定メニューの「接点入力」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの最優先入力の使用有無、および接点入力検出時の通報開始遅延時間を設定します。

また、設定済みの接点入力動作に関する一覧表を表示します。

接点入力設定

最優先入力使用有無 使用しない 使用する

最優先入力論理選択 a接(短絡時にON) b接(開放時にON)

通報開始遅延時間
(最優先入力を除く) 接点入力検出後、すぐに通報を開始する
 接点入力検出後、 秒後に通報を開始する

接点入力設定一覧

	計測項目情報	機能選択	イベント 通報有無			
			ON	OFF	変化	無変化
▲						
Ch 1	(未使用)	—	—	—	—	—
Ch 2	(未使用)	—	—	—	—	—
Ch 3	(未使用)	—	—	—	—	—
Ch 4	(未使用)	—	—	—	—	—
Ch 5	(未使用)	—	—	—	—	—
Ch 6	(未使用)	—	—	—	—	—
Ch 7	(未使用)	—	—	—	—	—
Ch 8	(未使用)	—	—	—	—	—
▼						

名称(入力範囲)	内容
最優先入力使用有無	最優先入力の使用有無を選択します。
最優先入力論理選択	最優先入力の論理を選択します。
通報開始遅延時間 (すぐに通報開始、30～600 秒)	接点入力検出後、通報を開始するまでの遅延時間を設定します。
接点入力設定一覧	後述する接点入力動作設定画面で設定した内容の一部を表示しています。 Ch 番号の上下にある「▲」、「▼」ボタンをクリックすると Ch1～16 まで表示内容がスクロールします。

7.2.19 接点入力動作設定 (Ch1~16)

設定メニューの「Ch1 動作」から「Ch16 動作」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの接点入力の検出条件や通報条件に関する設定を行ないます。

名称(入力範囲)	内容
計測項目情報 (16文字(半角時)以内)	イベント通報時の本文に付加される名称を設定します。
論理選択	接点入力時の論理を選択します。
検出時間 (ON 検出 0.00~3600.00 秒) (OFF 検出 0.01~3600.00 秒) (0.01 秒単位で設定)	接点入力(接点が短絡、もしくは開放)された際に ON、もしくは OFF と判断するまでの時間を設定します。 ※ON 検出=0.00 秒に設定された場合、この接点入力は未使用となります。
他入力情報送信	この接点入力イベントが通報される際、アナログ入力情報、および他 Ch の接点入力情報を一緒に本文に付加するかどうかを選択します。
機能選択	接点入力に対して割り当てる機能を選択します。
変化通報条件	接点入力状態が変化した際に通報を実施するかどうかを選択します。

名称(入力範囲)	内容
状態変化確認 (リアルタイム確認、0 時間 30 分 ～24 時間 0 分)	接点入力状態を確認する周期を設定します。 ※リアルタイムで変化を確認する場合、変化通報条件の設定に応じて ON 時、OFF 時イベント通報を行いません。 ※一定時間ごとに変化を確認する場合、前回確認時の状態から変化していた際に状態変化イベント通報を行いません。
リピート送信 (送信間隔 3～99 分) (送信回数 1～20 回)	ON 時、OFF 時イベント通報後、ON、または OFF 状態が一定時間継続した際に送信されるリピート送信イベントの通報条件を設定します。 ※ON 時、OFF 時イベント通報後に実施されるイベントのため、状態変化確認がリアルタイムに設定されていないと無効になります。
変化無し通報 (通報しない、1～999 時間)	接点入力状態が一定時間変化しなかった際に送信される変化無しイベントの通報条件を設定します。 ※このイベントは変化通報条件が「通報なし」に設定されていても通報されます。
イベント通報有無	それぞれの項目での設定内容に応じて、この接点入力から通報されるイベントを表示しています。

※満空監視／残量監視時の設定

DMA-Tの接点入力を使って満空監視、および残量監視を行なう際は下記の内容を参考にして設定してください。

・満空監視時の設定

設定項目	入力値
機能選択	「入力変化確認」
変化通報条件	「ON 時、OFF 時とも通報する」
状態変化確認	「～時間～分ごとに接点状態の変化を確認する」(時間設定は任意)
変化無し通報	「接点状態に変化が無い時は通報しない」

・残量監視時の設定

設定項目	入力値
機能選択	「入力変化確認」
変化無し通報	「～時間連続で接点状態に変化が無い時に通報する」(時間設定は任意)

7.2.20 接点入力送信設定(Ch1~16)

設定メニューの「Ch1 送信」から「Ch16 送信」をクリックすると表示される画面です。

接点入力状態に応じて発生する各イベント(ON 時、OFF 時、状態変化、変化無し)通報時の件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
ON 時／OFF 時／ 状態変化／変化無し	それぞれのタブをクリックする事で、各イベント通報時の件名と本文メッセージ入力欄を切り替えます。
件名 (20 文字(半角時)以内)	各イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (64 文字(半角時)以内)	各イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	各イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式＝TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.21 最優先入力送信設定

設定メニューの「最優先入力送信」をクリックすると表示される画面です。

最優先入力イベント通報時の件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20文字(半角時)以内)	最優先入力イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (64文字(半角時)以内)	最優先入力イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	最優先入力イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.22 アナログ入力設定

設定メニューの「アナログ入力」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tのアナログ入力値ログデータのロギング(保存)周期を設定します。

また、設定済みのアナログ入力動作に関する一覧表を表示します。

計測項目情報		閾値レベル&通報条件		
項目名	単位	レベル 1	レベル 2	レベル 3
Ch 1	(未使用)	-	-	-
Ch 2	(未使用)	-	-	-
Ch 3	(未使用)	-	-	-
Ch 4	(未使用)	-	-	-
Ch 5	(未使用)	-	-	-
Ch 6	(未使用)	-	-	-
Ch 7	(未使用)	-	-	-
Ch 8	(未使用)	-	-	-

名称(入力範囲)	内容
アナログ入力値ロギング間隔 (ロギングしない、1~99999 秒)	アナログ入力値ログデータの保存有無、および保存する場合のロギング(保存)周期を設定します。
アナログ入力設定一覧	後述するアナログ入力動作設定画面で設定した内容の一部を表示しています。

7.2.23 アナログ入力動作設定(Ch1~8)

設定メニューの「Ch1 動作」から「Ch8 動作」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tのアナログ入力のオフセット、フルスケール、および閾値オーバーイベントの検出条件や通報条件に関する設定を行ないます。

Ch1 動作設定

使用選択

計測項目情報
項目名
単位

「オフセット ≤ 閾値レベル1 < 閾値レベル2 < 閾値レベル3 ≤ フルスケール」の
大小関係になるように設定してください。

オフセット

(0mA, 0V入力時の変換値)

フルスケール

(20mA, 5V, 10V入力時の変換値)

閾値レベル 1

通報条件

復帰条件 「通報しない」設定のため、復帰条件はありません。

閾値レベル 2

通報条件

復帰条件 「通報しない」設定のため、復帰条件はありません。

閾値レベル 3

通報条件

復帰条件 「通報しない」設定のため、復帰条件はありません。

リピート送信

送信間隔

分 /
送信回数

回

他入力情報送信

名称(入力範囲)	内容	
使用選択	アナログ入力の使用有無、および使用する場合の入力範囲を選択します。	
計測 項目 情報	項目名 (16文字(半角時)以内)	イベント通報時の本文に付加される名称を設定します。
	単位 (6文字(半角時)以内)	イベント通報時の本文に付加される単位を設定します。
オフセット (半角 5文字以内。「-」(マイナス)、「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使用可能)	アナログ入力範囲の下限値が入力された際の変換値を設定します。	

名称(入力範囲)	内容
<p>フルスケール (半角 5 文字以内。「-」(マイナス)、「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使用可能)</p>	<p>アナログ入力範囲の上限値が入力された際の変換値を設定します。</p>
<p>閾値レベル1~3 (半角 5 文字以内。「-」(マイナス)、「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使用可能)</p>	<p>変換後のアナログ入力値に対する閾値を設定します。 通報条件の設定に応じて、入力値が閾値を超過した時、もしくは閾値以下になった時に閾値オーバーイベントを検出して、通報します。</p>
<p>復帰条件</p>	<p>閾値オーバーイベント通報後、同じレベルの閾値オーバーイベントを再検出するための復帰条件を表示しています。 ※復帰条件を満たすまでは、閾値をオーバーしてもイベントとして検出しません。</p>
<p>レポート送信 (送信間隔 3~99 分) (送信回数 1~20 回)</p>	<p>閾値オーバーイベント通報後、選択した閾値レベルをオーバーした状態が一定時間継続した際に送信されるレポート送信イベントの通報条件を設定します。 ※選択した閾値レベルと異なる閾値オーバーイベント通報が実施された場合、レポート送信イベントは解除されます。</p>
<p>他入力情報送信</p>	<p>このアナログ入力の閾値オーバーイベントが通報される際、他 Ch のアナログ入力情報、および接点入力情報を一緒に本文に付加するかどうかを選択します。</p>

7.2.24 アナログ入力送信設定(Ch1~8)

設定メニューの「Ch1 送信」から「Ch8 送信」をクリックすると表示される画面です。

アナログ入力値の変化時に発生する閾値レベル 1~3 オーバーイベント通報時の件名、本文メッセージ、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
閾値レベル1／閾値レベル2／ 閾値レベル3	それぞれのタブをクリックする事で、各イベント通報時の件名と本文メッセージ入力欄を切り替えます。
件名 (20 文字(半角時)以内)	各イベント通報の件名に記載される内容を設定します。
本文メッセージ (64 文字(半角時)以内)	各イベント通報の本文に付加される内容を設定します。
送信先アドレス	各イベント通報の送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.25 外部機器設定

設定メニューの「外部機器」をクリックすると表示される画面です。

DMA-Tの外部機器コネクタに接続された機器と送受信する内容を設定します。

名称(入力範囲)	内容
データ終端判定方法	外部機器から受信したシリアルデータの終端を判定する方法を選択します。
データ終端判定時間 (1～99 秒)	外部機器から受信したシリアルデータが途切れた際、データの終端であると判定するまでの時間を設定します。
データ終端コード (00～1F の 16 進数)	外部機器から受信したシリアルデータの中に含まれていた際、データの終端であると判定する 16 進数を設定します。
送信完了通知	DMA-Tのシリアルデータイベント送信が完了した事を、外部機器に通知するかどうかを選択します。
送信成功時出力コード (00～FF の 16 進数)	DMA-Tのシリアルデータイベント送信が成功した場合に外部機器に出力する 16 進数を設定します。
送信失敗時出力コード (00～FF の 16 進数)	DMA-Tのシリアルデータイベント送信が失敗した場合に外部機器に出力する 16 進数を設定します。

7.2.26 シリアルデータ送信設定

設定メニューの「シリアルデータ送信」をクリックすると表示される画面です。

外部機器から受信したシリアルデータを送信するためのシリアルデータメールの件名、データ添付先、送信先を設定します。

名称(入力範囲)	内容
件名 (20 文字(半角時)以内)	シリアルデータイベントの件名に記載される内容を設定します。
データ格納先 (24 文字(半角時)以内の ファイル名)	シリアルデータの内容を本文にそのまま出力するか、ファイルに格納した上で添付して送信するかを選択します。
送信先アドレス	シリアルデータメールの送信先アドレスを選択します。 ※未登録アドレスを選択した場合、そのアドレスには送信されません。 ※接続設定画面で「通信方式=TCP クライアント、TCP サーバー、UDP」を選択した場合は選択できません。

7.2.27 通信条件設定

設定メニューの「通信条件」をクリックすると表示される画面です。

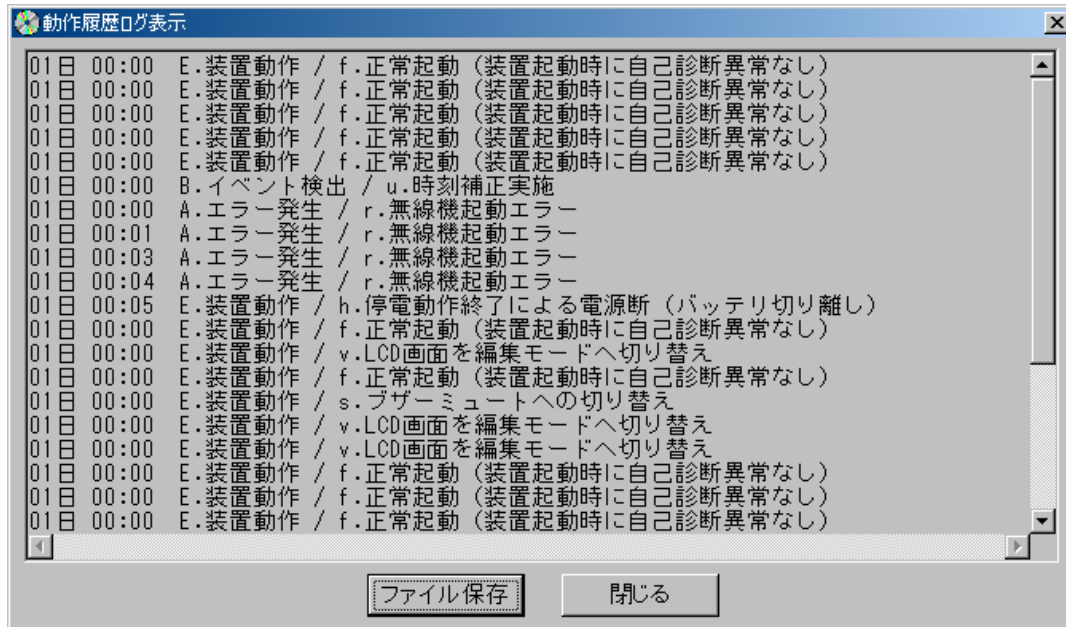
DMA-Tの外部機器コネクタに接続された機器との通信条件を設定します。

名称	内容
ボーレート選択	外部機器とのシリアル通信速度を選択します。
文字長選択	外部機器とのシリアル通信時の文字長の種別を選択します。
パリティビット選択	外部機器とのシリアル通信時のパリティビットの種別を選択します。
ストップビット選択	外部機器とのシリアル通信時のストップビットの種別を選択します。

7.3 その他の画面

7.3.1 動作履歴ログ表示

メイン画面のメニューバーから「メンテナンス」→「動作履歴読み出し」の順にクリックして、DMA-Tから動作履歴ログを読み出した際に表示される画面です。



DMA-Tに記録されている動作履歴ログを表示するほか、「ファイル保存」ボタンをクリックする事により、表示内容をファイルに保存する事が可能です。

なお、表示されているログの日時情報は、時刻補正が完了するまでは「1日 00:00」からの経過時間となり、時刻補正が完了した後から正しい日時になります。

7.3.2 i-Web 通信用パラメータ設定

メイン画面のメニューバーから「メンテナンス」→「i-Web 通信用パラメータ設定」の順にクリックすると、表示される画面です。i-Web サーバーとの通信用パラメータの読み込み、書き込みを行いません。

DMA-Tの出荷時設定では、mopera プロバイダを使用して i-Web サーバーに接続する設定になっています。このため、FOMA/DoPa 以外の無線電話端末を使用して i-Web サーバーに接続する場合、i-Web 通信用パラメータの変更が必要になる場合があります。

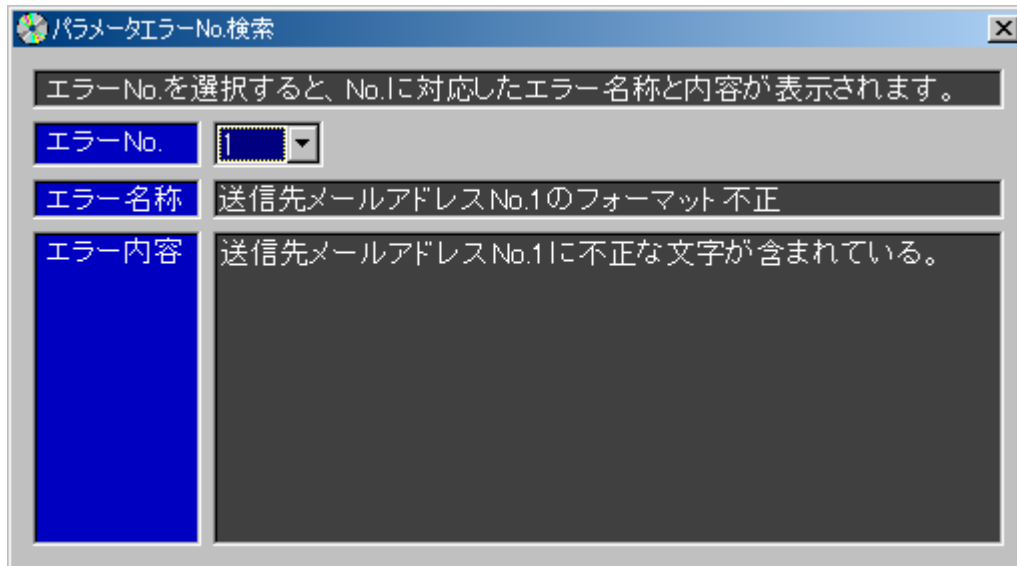
「デフォルト設定値として保存」ボタンをクリックすると、本ソフトのデフォルト設定値として保存します。
(本ソフト起動時の初期値として保存します。DMA-Tへの書き込みは行いません。)

名称(入力範囲)	内容
IP アドレス (0.0.0.0~255.255.255.255)	i-Web サーバーの IP アドレスを設定します。
ドメイン名 (48 文字(半角時)以内)	i-Web サーバーのドメイン名を設定します。 ※IP アドレスかドメイン名のどちらかを選択して入力してください。
接続先 APN 情報 (32 文字以内。半角英数字、「-」、 「.」(ピリオド)のみ使用可能)	FOMA 網への接続に使用する APN 情報を設定します。 無線電話端末に FOMA アダプタを使用する場合に入力してください。

名称(入力範囲)	内容
接続先電話番号 (16 文字以内。半角数値、「#」、 「*」、「-」のみ使用可能)	DoPa 網、CDMA 1X 網への接続に使用する電話番号を設定します。 無線電話端末に FOMA アダプタを使用する場合、入力した内容は 無効になります。
接続認証方式	回線接続時の認証方式を選択します。
ユーザー名 (54 文字(半角時)以内)	回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。
パスワード (16 文字(半角時)以内)	回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。
DNS サーバー(優先) (0.0.0.0~255.255.255.255)	優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
DNS サーバー(代替) (0.0.0.0~255.255.255.255)	代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

7.3.3 パラメータエラーNo.検索

メイン画面のメニューバーから「情報」→「パラメータエラーNo.検索」の順にクリックすると、表示される画面です。パラメータ設定に不備があった際、DMA-Tの LCD 画面に表示されるパラメータエラーNo.が、どのようなエラー内容か検索する事が可能です。



8 接続サーバーごとの設定項目対応表

使用する接続サーバーごとに対応する設定画面と設定項目を一覧表にまとめています。

以下の一覧表に従って登録時の情報を入力することで、メールの送信、受信に必要なパラメータを設定することができます。

8.1 mopera 使用時

設定画面	設定項目	入力値
プライマリ設定 セカンダリ設定 ターナリ設定	送信元メールアドレス	mopera 登録時のメールアドレス
	自己 IP アドレス	0.0.0.0
	接続先 APN 情報	mopera.ne.jp (FOMA 使用時)
	接続先電話番号	#9601 (DoPa 使用時)
	接続認証方式	PAP
	ユーザー名	a
	パスワード	b
	DNS サーバー(優先)	211.14.74.49
DNS サーバー(代替)	211.14.74.50	
送信(SMTP)サーバー 設定	ドメイン名	smtpn.mopera.ne.jp
	接続先ポート番号	25
	SMTP 認証	実施しない
	SMTP 認証アカウント名	空白
	SMTP 認証パスワード	空白
	POP before SMTP	実施しない
受信(POP)サーバー 設定	ドメイン名	popn.mopera.ne.jp
	接続先ポート番号	110
	POP 認証アカウント名	mopera 登録時のユーザー名
	POP 認証パスワード	mopera 登録時のパスワード

※上記は mopera メールサービスを使用して、メールの受信を行なう場合の設定です。

※メールの送信だけ実施する場合、送信元メールアドレスは任意のアドレスを設定してください。また、受信(POP)サーバー設定も不要です。

8.2 moperaU 使用時

設定画面	設定項目	入力値
プライマリ設定 セカンダリ設定 ターナリ設定	送信元メールアドレス	moperaU 登録時のメールアドレス
	自己 IP アドレス	0.0.0.0
	接続先 APN 情報	mopera.net
	接続認証方式	CHAP(MD5)
	ユーザー名	moperaU 登録時の基本 ID
	パスワード	moperaU 登録時のパスワード
	DNS サーバー(優先)	220.159.212.200
DNS サーバー(代替)	220.159.212.201	
送信(SMTP)サーバー 設定	ドメイン名	mail.mopera.net
	接続先ポート番号	587
	SMTP 認証	実施する
	SMTP 認証アカウント名	moperaU 登録時の基本 ID
	SMTP 認証パスワード	moperaU 登録時のパスワード
POP before SMTP	実施しない	
受信(POP)サーバー 設定	ドメイン名	mail.mopera.net
	接続先ポート番号	110
	POP 認証アカウント名	moperaU 登録時の基本 ID
	POP 認証パスワード	moperaU 登録時のパスワード

※メールの送信、受信に moperaU を使用しない場合、送信元メールアドレス、および送信(SMTP)サーバー設定、受信(POP)サーバー設定は、お客様の環境でご利用可能なメールサーバーを設定してください。

8.3 au.NET 使用時

設定画面	設定項目	入力値
プライマリ設定 セカンダリ設定 ターナリ設定	送信元メールアドレス	お客様の環境でご利用可能なメールアドレス
	自己 IP アドレス	0.0.0.0
	接続先電話番号	9999
	接続認証方式	PAP
	ユーザー名	au@au-net.ne.jp
	パスワード	au
	DNS サーバー(優先)	210.196.3.183
	DNS サーバー(代替)	210.141.112.163
送信(SMTP)サーバー 設定	au.NET 使用時はネットワークへの接続は可能ですが、メールサーバーは提供されません。	
受信(POP)サーバー 設定	このため、お客様の環境でご利用可能なメールサーバーを別途ご用意いただく必要があります。	

8.4 ラピキヤス使用時(FOMA、DoPa)

設定画面	設定項目	入力値
プライマリ設定 セカンダリ設定 ターナリ設定	送信元メールアドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「通信機用ラピキヤス ID」
	自己 IP アドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「IP アドレス」
	接続先 APN 情報	mima.dcm.ne.jp(FOMA 使用時)
	接続先電話番号	#9601(DoPa 使用時)
	接続認証方式	認証なし
	ユーザー名	空白
	パスワード	空白
	DNS サーバー(優先)	0.0.0.0
	DNS サーバー(代替)	0.0.0.0
送信(SMTP)サーバー 設定	IP アドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「SMTP サーバアドレス」
	接続先ポート番号	25
	SMTP 認証	実施しない
	SMTP 認証アカウント名	空白
	SMTP 認証パスワード	空白
	POP before SMTP	実施しない
受信(POP)サーバー 設定	IP アドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「POP サーバアドレス」
	接続先ポート番号	110
	POP 認証アカウント名	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「通信機用ラピキヤス ID」
	POP 認証パスワード	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「POP パスワード(暗証番号)」

8.5 ラピキヤス使用時(CDMA 1X)

設定画面	設定項目	入力値
プライマリ設定 セカンダリ設定 ターナリ設定	送信元メールアドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「通信機用ラピキヤス ID」
	自己 IP アドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「IP アドレス」
	接続先電話番号	9999
	接続認証方式	PAP
	ユーザー名	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「接続ユーザ ID」+「@」+「接続先アドレス(ドメイン)」 (例: rapi012345678@tmacs.jp)
	パスワード	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「接続パスワード」
	DNS サーバー(優先)	0.0.0.0
	DNS サーバー(代替)	0.0.0.0
送信(SMTP)サーバー 設定	IP アドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「SMTP サーバアドレス」
	接続先ポート番号	25
	SMTP 認証	実施しない
	SMTP 認証アカウント名	空白
	SMTP 認証パスワード	空白
	POP before SMTP	実施しない
受信(POP)サーバー 設定	IP アドレス	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「POP サーバアドレス」
	接続先ポート番号	110
	POP 認証アカウント名	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「通信機用ラピキヤス ID」
	POP 認証パスワード	ラピキヤス登録完了通知書のシステム登録情報に記載された「POP パスワード(暗証番号)」

